
平成26年度

熊本県松橋収蔵庫活動報告書

熊本県博物館ネットワークセンター

熊本県では、これまで県民の皆様や関係機関から寄贈された64万点にも及ぶ熊本の自然や文化に関する貴重な資料を収蔵し、整理、保存及び調査研究に努めてきました。

また、平成19年の熊本県自然・人文資料活用検討委員会からの提言「松橋収蔵庫の自然・人文資料の活用－県民参加の博物館活動を進める－」を受け、収蔵資料を活用した企画展示や「熊本を知る講座」、県内各地で実施する自然観察会「フィールドミュージアムへ飛びだそう！」等、県民参加を重視した博物館活動を進めてきました。

この「県民参加の博物館活動」の広がりや時代の要請を踏まえ、本県の宝ともいふべき、自然、歴史、文化を素材として、多くの県民の知的欲求に応えるため、「県内どこに住んでいても博物館活動に参加・体験できる」「熊本タイプ」の博物館を目指して、平成25年12月に「熊本県総合博物館ネットワークについて」を策定しました。

これを受け松橋収蔵庫は「熊本県総合博物館ネットワーク」構築の中核施設として「熊本県博物館ネットワークセンター」として平成27年4月1日に生まれ変わり、県内博物館等との共同企画展、県や市町村等で資料情報を共有できる熊本県博物館資料データベースの構築、授業に役立つ学校用の展示パッケージの運用など新たな取り組みを進めております。

「熊本県総合博物館ネットワーク」の構築を目指して、博物館活動を更に充実して参りますので、皆様には今後ともより一層の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

平成28年3月20日
熊本県博物館ネットワークセンター
所長 松尾 伸吾

目次

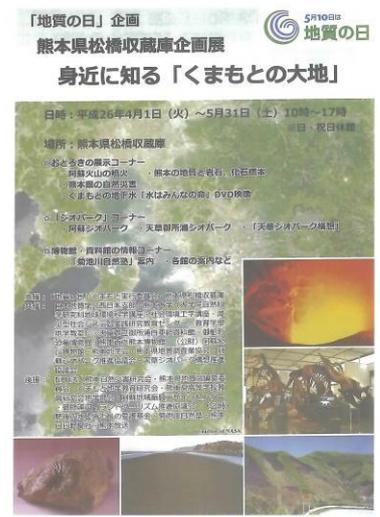
1	展示活動	
(1)	企画展示	4
(2)	移動展示	16
(3)	共催展示	18
(4)	松橋収蔵庫通路展示	19
2	学習支援活動	
(1)	フィールドミュージアムへ飛びだそう！	21
(2)	熊本を知る講座	23
(3)	キッズミュージアム	26
(4)	移動体験教室・講師派遣	27
(5)	団体利用	28
(6)	博物館実習・職場体験	28
(7)	松橋収蔵庫ミュージアムパートナー制度	29
(8)	松橋収蔵庫ミュージアムパートナーズクラブ	29
3	熊本県総合博物館ネットワーク構築準備事業	32
4	資料収集整理活動	
(1)	資料収集・整理状況	34
(2)	資料特別利用	39
5	情報発信活動	
(1)	出版物	40
6	資料	
(1)	平成26年度職員一覧	41
(2)	施設平面図	42

1 展示活動

(1) 企画展示

① 身近に知る「くまもとの大地」

開催期間 平成26年4月1日～5月31日
共 催 熊本大学理学部・工学部、阿蘇火山博物館、熊本市立熊本博物館、御船町恐竜博物館、御所浦白亜紀資料館、熊本県地質調査業協会、菊池川自然塾、水と緑の愛護基金
観覧者数 447人
展示点数 約400点
担 当 川路 芳弘、廣田 志乃



(展示趣旨)

熊本には、恐竜が出現するより古い時代の地層から、恐竜時代の地層、恐竜がほろんだあとの地層まで様々な時代の地層がある。これらの地層から産出した化石展示、阿蘇をはじめとする火山関係の展示、地震など自然災害に対する防災など、地質に関する様々な展示を共催各館の合同で行う。

(展示構成及び主な展示資料)

- 1 阿蘇火山博物館**
阿蘇ジオパークに関する写真(8点)、阿蘇噴出物の貸し出し標本(1セット)
- 2 御所浦白亜紀資料館**
恐竜骨格標本、御所浦産の化石(40点)、御所浦の地質に関する展示パネル(5点)、天草ジオパーク構想関連の写真パネル(30点)
- 3 熊本市立熊本博物館**
熊本の古生代の化石(10点)、松橋地域の化石(20点) 説明パネル
- 4 熊本県地質調査業協会**
ボーリングコア資料(30点)、観覧者へ配布するボーリングコア標本(100点)
- 5 菊池川自然塾**
花房層の椀かけをした鉱物標本(3点)、菊池川自然塾の活動パネル
- 6 熊本大学理学部**
地域防災に関するパネル(4枚)
- 7 熊本大学工学部**
リモートセンシングによる断層評価に関するパネル(4枚)
- 8 松橋収蔵庫**
熊本の新生代の化石(20点)、熊本の鉱物(10点)、阿蘇中央火口丘群の火成岩(20点)



(関連企画)

5月10日 地質の日関連イベントとして共催各団体が松橋収蔵庫学習室に集まり、地質に関する子ども向け体験学習を行った。

- ・熊本大学理学部「石膏による化石レプリカづくり」
- ・熊本市立熊本博物館「バンニングによる鉱物採集」「石灰岩を磨いてフズリナを観察しよう」
- ・熊本地質調査業協会「ボーリングコア配付」
- ・菊池川自然塾「光学顕微鏡による鉱物観察」
- ・水と緑の愛護基金「阿蘇カルデラと地下水」のビデオ上映
- ・阿蘇火山博物館「小麦粉でみるカルデラの作り方実験」
- ・松橋収蔵庫「砂から砂鉄を見つけよう」「山砂から鉱物を探そう」「恐竜折り紙をつくろう」

参加者 150人



② 働く人々 民俗写真家の眼差し 白石巖写真展2

開催期間 平成26年6月9日～7月12日
 観覧者数 236人
 担当 國本 信夫、迫田 久美子

平成26年度第2回企画展
働く人々
 —民俗写真家の眼差し—
 白石巖民俗写真展II



白石巖氏は、熊手で薪を切り、人々の暮らしの様子などの民俗写真家としての活動が主眼となし、完成した作品は、熊本の各地に、日本民俗学協会や熊本県立民俗学センターなどに展示されている。また、熊本の各地に、熊本の民俗学協会や熊本県立民俗学センターなどに展示されている。また、熊本の各地に、熊本の民俗学協会や熊本県立民俗学センターなどに展示されている。



2014.6.9～7.12 10:00～17:00
 入場 無料 *日・曜日は休館です。
 熊本県 松橋収蔵庫
 宇城市松橋町電報1695 Phone0964-34-3301

(展示趣旨)

白石巖氏(1921年～1995年)は、熊本で祭りや行事、人々の暮らしぶりなどを長年にわたり撮影された民俗写真家である。氏は観光客が訪れるような有名な祭りだけではなく、地域の人々がひっそりと行なってきた民俗行事や日常の暮らしを丹念に撮影した。更に、写真を撮影するだけではなく、その際行った民俗調査データが併せて残されており、第一級の民俗写真資料として高く評価されている。

県では、氏の写真資料の寄贈を受けて以来、写真の整理・デジタル化、資料登録を行ってきた。今回の企画展は資料登録が完了した写真の中から、高度経済成長期までに撮影されたさまざまな労働に従事している人々の写真を展示した。熊本に住む人々の暮らし、仕事の変化を実感して、現在の暮らしを考えるきっかけとする。



(展示写真)

写真名	サイズ	撮影地	撮影年代
海岸で牛洗い	B1	上天草市大矢野町上	1965
薪運び	A1	熊本市小山戸島	1964
貯木場	A1	宇城市三角町	1964
南関素麺	A1	玉名郡南関町	1964
来民団扇	A1	山鹿市鹿本町来民	1964
瓦焼き	A1	宇土市花園	1964
下駄材干し	A1	山鹿市熊入町	1964
海苔収穫	A1	玉名郡長洲町	1965
干し蛸	A1	上天草市大矢野町上	1965
草泊まり	A1	阿蘇郡南小国町	1965
熊本城修復の鳶職人	A1	熊本市	1965
櫛ちぎり	A1	山鹿市鹿央町	1966
焼き芋売り	A1	熊本市	1967
郵便配達	A1	八代市泉町(釈迦院)	1967
精霊市	A1	熊本市	1967
紙芝居	A1	熊本市八島団地	1968

写真名	サイズ	撮影地	撮影年代
駅の弁当売り	A1	菊池郡大津町立野	1971
漁網修理	A1	宇城市三角町郡浦	1972
天草更紗	A1	天草市（本渡市南町）	1972
材木を運ぶ馬車	A1	阿蘇郡小国町	1973
鍛冶屋	A1	熊本市北区竜田口	1989
桶屋	A1	熊本市上熊本	1989
大根収穫	A3	熊本市植木町	1963
藪苗割り	A3	八代地方	1963
切り干し大根	A3	阿蘇郡高森町色見	1963
茶摘み	A3	熊本市	1964
たまねぎ干し	A3	玉名市	1964
苗取り	A3	宇土	1964
蓮根収穫	A3	宇土市網田	1964
みかんの搬出	A3	熊本市河内	1965
鍬打ち	A3	山鹿市鹿央町	1966
田植え	A3	宇土市網田	1967
山菜採り	A3	熊本市金峰山	1968
粃摺り	A3	葦北郡芦北町桑原	1972
粃干し	A3	阿蘇郡南阿蘇村長陽長野	1972
井手掃除	A3	熊本市植木町	1977
溝立て	A3	菊池郡大津町中窪田	1983
代均し	A3	菊池郡大津町仮宿	1985
田植え	A3	菊池郡大津町仮宿	1985
豆打ち	A3	菊池郡大津町	1985
薪割り	A3	熊本市西区河内町	1964
草泊まりの親子	A3	阿蘇郡南小国町	1965
子守	A3	上天草市松島町	1966
牛乳配達	A3	熊本市	1966
新聞配達	A3	熊本市	1966
干し柿づくり	A3	宇城市小川町海東	1966
ドンドヤの準備	A3	上益城郡甲佐町	1967
櫓を漕ぐ	A3	上天草市大矢野町江樋戸	1967
お出迎え	A3	上天草市大矢野町	1967
田植えの休憩	A3	宇土市網田	1967
トウキビ売り	A3	阿蘇地方	1967
八朔のアンドントモシ	A3	熊本市南区御幸木部	1968
初荷	A3	熊本市田崎市場	1969
牛の世話	A3	上天草市大矢野町	1969
鍬で耕す	A3	天草郡苓北町	1972
嫁御の尻打ち	A3	葦北郡芦北町大野	1973
阿佐古のカセドリ	A3	山鹿市菊鹿町阿佐古	1976

4 いろいろな葉

植物の光合成をになう葉がさまざまな形があることを示した。

<主な展示資料>

アラカシ、イロハモミジ、ミツデカエデ、マダケ、
葉化石、笠



5 花

花の役割（生殖）を簡潔に説明し、虫媒および風媒の花の多様性を紹介した。

<主な展示資料>

オオバコ、スイカズラ、アセビ、ネムノキ、ナギ、ススキ、カラスムギ、ヒゴアサガオ

6 実と種

繁殖の役割を担う果実や種子は、その分散戦略によってさまざまな色形をしている。その形態的な多様性を紹介した。そういった形態的な多様性やその機能を体感してもらうため、体験コーナー（ひつつき虫ダーツ、フタバガキの模型、茎のスタンプ、ハウガンヒルギのパズル）を設置した。

<主な展示資料>

アオダモ、オナモミ、チヂミザサ、ヤマシャクヤク、テイ
カカズラ、ガガイモ、ツワブキ



7 暮らしと利用

植物の暮らしへの利用は、素材のそのものを利用するだけではなく、成分を抽出したり、変化させたり、道具を介して加工するなど複雑な工程を踏むものも発達している。それらの、より手間のかかる利用法を紹介した。

<主な展示資料>

ウルシ、カキ、ハゼ、ワタ、コウゾ、榎津塗り、糸車、柿渋うちわ

④ ちょっと昔のくらし探検VI

開催期間 平成26年9月10日～11月3日
後援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会
観覧者数 1,523人
展示点数 125点
担当 國本 信夫、迫田 久美子

(展示趣旨)

昭和30年代後半から40年代にかけて、高度経済成長の下、機械化、電化、石油を中心とした化学製品の普及により日々の暮らしは激変した。これほどの日々の暮らしの急変は日本人がこれまで経験したことがないものであった。昭和30年代後半から40年代まで普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3・4年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単元に対応した道具を中心に紹介し、暮らしの変化を実感することを目指した。

(展示構成と主な展示資料)

1 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも竈かまどに火を熾おこし、火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介。

<主な展示資料>

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、豆腐箱 醤油瓶

2 より明るく、暖かく

オール電化の住宅では日常炎を見ることは稀であろう。そうでなくてもスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

<主な展示資料>

燭台、行灯、提灯、ランプ、電灯、火鉢、炬燵、湯たんぽ、電気行火

3 洗濯と裁縫

今では水道の蛇口を開けば水が出るというのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲みたらい盥くで洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

<主な展示資料>

井戸の滑車、洗濯機、炭火アイロン、足踏ミシンく縫くけ台、仕事着、ドンザ



昔代 阿蘇産物館 1972 白石蔵蔵

平成26年度教育委員会推薦

ちょっと昔のくらし探検 VI

2014.09.10～11.29 10:00～17:00

熊本県 松橋取蔵庫

宇城市松橋町豊福1655 Phone:0964-34-3301

*日・曜日は休館です。



4 田畑で働く

昭和30年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫が重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介する。

<主な展示資料>

鍬、^{からすき}犁、田下駄、田植綱、ガンズメ、千歯扱き、足踏み脱穀機、箕、唐箕

5 山で働く

戦後の拡大造林期を経て、山は景観も代わり、仕事内容も機械の導入で大きく変わった。人の力で木を切り、板を切り出していた時代の山の道具を紹介する。

<主な展示資料>

山鋸、大鋸、切り斧、ハツリ斧、造林鎌、皮剥、鳶口、^{かん}鑿、万力爪

6 海・川で働く

漁業も機械化、大型化で大きく変わった。沿岸漁業は衰退し、獲る漁業から栽培する漁業への転換が図られている。以前の海漁、川漁の道具を紹介する。

<主な展示資料>

餌木、擬餌鉤、蛸壺、魚伏籠、魚籠、鰻釜、鰻搔、鋤簾、やす



7 伝える

音声を伝える手段、文字や画像を伝える手段、一度に多くの人に伝える手段、それぞれの変遷を紹介する。

<主な展示資料>

拍子木、蓄音機、電話、テープレコーダー、切手・はがき、謄写版、ガラス乾板カメラ、真空管ラジオ、白黒テレビ



(特記事項)

学校団体見学 11校13回

(見学時には展示説明のほか、体験学習として天秤棒による水運び、洗濯板による洗濯、^{ひのし}火熨斗によるアイロンがけ、きな粉作りなどを実施)

⑤ 救護看護婦 竹田ハツメ

開催期間 平成26年12月15日～平成27年2月28日
協力 竹田 宏司 氏、松本 達也 氏
日本赤十字社熊本県支部、熊本赤十字病院
観覧者数 444人
展示点数 43点
担当 田中 孝行、松本 晃世、堤 将太



(展示趣旨)

平成26年(2014)は、人類が経験した史上初の世界大戦である第一次世界大戦の開戦から100年に当たる年であった。この大戦では、多数の近代兵器が初めて本格的に投入された結果、死者数は約2,500万人を超えたとされる。

日本陸海軍が主戦場のヨーロッパ戦線に参戦することはなかったものの、日本赤十字社による英・仏・露国救護班が派遣され、その中の仏国派遣救護班の一員として、熊本から竹田ハツメが派遣され、17ヶ月にも渡って救護活動に当たっている。

本展示では、松橋収蔵庫が所蔵している竹田ハツメ関係資料や福岡日日新聞に連載された「渡仏看護婦の手記」等をもとに、フランスで称賛された救護班の足跡をたどり、郷土の先人の功績を県民に紹介する。

(展示構成及び主な展示資料)

1 人道博愛の一路に一生を捧げ

展示の導入部として、竹田ハツメの経歴や第一次世界大戦の概要を解説。

<主な展示資料>

履歴書(竹田ハツメ)、欧州列国大地図、任命書(準備看護婦)、看護婦証書



2 日露戦争当時も救護班として出征

竹田ハツメも小倉病院で救護活動に当たった日露戦争における日赤救護体制を解説。

<主な展示資料>

明治37・38年従軍記章之証、明治37・38年戦役救護紀念章、明治37・38年戦役慰労金給与証

3 仏国救護班派遣を命ず

日赤仏国救護班の組織概要や編成過程を解説。

<主な展示資料>

訓示(日本赤十字社社長)、仏国派遣救護班勤務心得、御製(大正天皇)

4 母国を離れる事数千里

救護班が到着した当時のパリに関する資料や救護病院となったホテルの資料を展示。

<主な展示資料>

パンフレット(ホテルアストリア)、パリ観光案内地図

5 竹田ハツメの愛用品

トランクやバッグ等、実際に竹田ハツメが渡仏時に使用した愛用品を展示。

<主な展示資料>

バッグ（竹田ハツメ使用）、備忘録、名刺（竹田ハツメ）、桐花章、トランク（竹田ハツメ使用）、勲七等瑞宝章（勲記）、外套（竹田ハツメ使用）

6 戦時下の日仏交流

戦時下にも関わらず、救護病院内におけるスタッフや患者との交流を紹介。

<主な展示資料>

ティーカップセット、LA MARSEILLAISE（楽譜）、フランス国旗



7 第一次世界大戦と近代兵器

当時使用された兵器を展示し、第一次世界大戦の史上初の近代戦としての側面を解説。

<主な展示資料>

エンフィールド銃、戦闘用ヘルメット、レントゲン写真（紙焼き）

8 我が救護班の事業

写真や絵葉書をパネル化し、病院や救護活動の様子を視覚的にわかりやすく紹介。

<主な展示資料>

仏国派遣救護班活動絵葉書、写真（竹田ハツメ関係）、日本郵船会社経営客船航路図、伏見丸メニュー表、The Japanese Ambulance, Paris（油彩画）



9 妾達が一番困りました事

救護班が直面した問題や困難を竹田ハツメのノートや書簡をもとに解説。

<主な展示資料>

博愛手帳、仏蘭西語独習、雑記帳、書簡（塩田廣重宛）

10 我が救護班の事業惜別の念の切なるを

二度の延長を経て、帰国が決まった救護班に対するフランス各方面からの感謝や賞賛の声を紹介。

<主な展示資料>

メダイユ・ドヌール勲章（勲記）、日仏教会記念メダル、フランス赤十字社感謝状、フランス赤十字社記章、感謝状（フランス婦人会パリ 16 区）

11 無事に其職を全うし

帰国した救護班に対する国内の反応や、その後の竹田ハツメの人生を紹介。

<主な展示資料>

日本赤十字社慰労金給与証、任命書（熊本医科大学付属医院看護長）

12 表の飾石となるより裏石とならん

展示の結びとして、太平洋戦争期や現代まで続く日赤救護活動を紹介。

<主な展示資料>

救護看護婦制服、熊本赤十字病院の国際活動（パネル）

⑥ フィールドサインを見つけにいこう

開催期間 平成27年3月20日～6月21日
観覧者数 32人（3月20日～3月31日）
担当 天野 守哉、小原 舞

（展示趣旨）

野山を歩くと生き物たちが残した様々な痕跡が見つかる。しかしながらその多くは見過ごされる場合が多い。そのような痕跡を丁寧に見つけていくと、今まで知らなかった生き物たちの様子が見えてくる。本展示では、野山に残された痕跡に「気づき」、痕跡や周囲の環境をよく「観察」して情報を集め、ここに生息している生き物たちがそこで何をしていたのか「想像」することの面白さを紹介。



（展示構成及び主な展示資料）

1 「フィールドサインってなあに？」

フィールドサインの定義とその種類（食痕、フン、足跡など）について解説。

＜主な展示資料＞

アカネズミの食痕が残った松ぼっくり、ノウサギのフン、ウグイスの巣、セミの抜け殻

2 「食べる」

どんな生き物が、何を、どうやって食べるのか。食べ物に残された食痕を紹介。また、ニホンジカなどの頭骨標本を展示し、食物を食べるために特化した歯を観察してもらう。

＜主な展示資料＞

アカネズミやムササビなどの本剥製、ニホンジカの頭骨標本、食痕が残ったクルミや松ぼっくり、ニホンジカなどの食痕写真

3 「フンをする」

誰が、どんなフンを、どこでするのか。かたちに注目してそれぞれのフンの特徴をクイズも交えて解説する。フンの状態（ためフンなど）から分かるその生き物の習性にも着目。また、動物による種子分散など、森林生態系におけるフンの役割についてもふれる。

＜主な展示資料＞

テンやニホンジカなど哺乳類のフンの乾燥標本、フン虫のドイツ箱

4 「移動する」

どこで（水辺、林道、山奥の雪の上）、どんな足跡が（外形、大きさ、指の数、爪跡の有無）、どんな歩き方で（一直線、ジグザグ、跳躍）残っていたのか、いろんな角度から足跡を解説する。

＜主な展示資料＞

ノウサギやイタチ、イノシシやニホンジカなど哺乳類の本剥製

5 「すむ」

どんな場所にどんな生き物がどんな巣をつくって暮らして



いるのか。巣をつくる場所や環境に着目して生き物の生活を知る。

<主な展示資料>

カヤネズミの巣、タイワンリスの巣、小鳥類の巣、カササギの巣、コガタスズメバチの巣、虫こぶ

6 「これはなあに？」

イノシシの泥浴びの痕跡や、シカが角を研いだ痕跡など、その生き物特有のフィールドサインを紹介。また、ヘビの抜け殻や鳥の羽など、生き物が残したものに幅広く注目して紹介した。

<主な展示資料>

ニホンジカの角、ヘビの抜け殻、昆虫類の脱け殻、鳥類の羽毛

7 「いざ！フィールドサインを見つけにいこう」

野外での服装やマナー、危険生物など、楽しく野外観察をするための心得を解説。また、調査で使用する道具を展示し、野外調査に興味をもってもらう。

<主な展示資料>

シャーマントラップ、自動撮影カメラ、ポイズンリムーバー、フィールドノート

(関連企画)

3月28日：企画展示記念講演・自然観察会「フィールドサインを見つけるって実は楽しい！」

参加者 15人

3月29日：野外観察会「夜空を舞うオヒキコウモリを観察しよう」

参加者 33人



(2) 移動展示 松橋収蔵庫で実施した過去の企画展示等を学校や博物館等で開催

① 地球と生物のあゆみ

会場等 熊本県立熊本高等学校（平成 26 年 9 月 19 日～20 日 600 人）
熊本県立菊池高等学校（平成 26 年 10 月 2 日 143 人）
熊本県立河浦高等学校（平成 26 年 11 月 16 日 250 人）

展示点数 87 点

展示概要 古生代から今までの地球の歴史を化石で展示。
熊本の示準化石と、北海道や海外の同じ属の化石を用いて同じ時代海であったことを伝え、熊本の植物化石を用いて地層ができた時代の環境を知る展示。

特記事項 文化祭の一環として展示

担当 川路 芳弘、廣田 志乃



② ふしぎな鉱物の世界

会場 熊本県立第一高等学校

開催日 平成 26 年 9 月 20 日

観覧者数 152 人

展示点数 149 点

展示概要 高等学校で習う元素を含んだ鉱物、鉄及び非鉄金属を含む鉱物、結晶がきれいな鉱物、紫外線を当てると光る鉱物など鉱物を身近に感じてもらう展示。

特記事項 文化祭の一環として展示

担当 川路 芳弘、廣田 志乃



③ くまもとの外来生物

会場等 熊本県立第一高等学校（平成 26 年 9 月 20 日 196 人）
熊本県立湧心館高等学校

（平成 26 年 10 月 5 日～10 月 6 日 318 人）

玉名女子高等学校（平成 26 年 11 月 2～3 日 230 人）

展示点数 34 点

展示概要 企画展示「くまもとの外来生物」を再構成して展示

特記事項 文化祭の一環として展示

担当 稲葉 一文、前田 哲弥



④ 絵葉書ものがたり

会場 くまもと県民交流館パレア

開催期間 平成 26 年 10 月 1 日～11 月 30 日

展示点数 122 点

展示概要 松橋収蔵庫が所蔵する明治から昭和までの絵葉書を初



めて本格的に展示し、過去の出来事や景観等を現代の私たちに伝える絵葉書の歴史資料としての資料性を解説。併せて、熊本の出来事、名所や旧跡等を写した絵葉書を展示

担 当 田中 孝行、松本 晃世、堤 将太

⑤ 水辺の生き物

会 場 長洲町金魚の館
開催期間 平成 26 年 11 月 1 日～11 月 30 日
観覧者数 12,000 人
展示点数 98 点
展示概要 企画展示「水辺の生き物」を再構成して展示。
担 当 天野 守哉、小原 舞



⑥ 植物と遊ぼう

会 場 菊陽町立菊陽北小学校
開催期間 平成 26 年 11 月 29 日
観覧者数 120 人
展示点数 60 点
展示概要 企画展示「植物とあそぼう！」を再構成して展示
特記事項 文化祭の一環、PTA 運営で展示。体験コーナーを併設した。
担 当 稲葉 一文、前田 哲弥

⑦ ちょっと昔の暮らし探検

会 場 熊本大学五高記念館
開催期間 平成 27 年 1 月 19 日～平成 27 年 2 月 24 日
観覧者数 600 人
展示点数 125 点
展示概要 企画展示「ちょっと昔の暮らし探検」を再構成して展示
特記事項 熊本大学の博物館実習 1 の授業の一環として、展示作業は受講学生が実施
担 当 國本 信夫、迫田 久美子



(3) 共催展示 松橋収蔵庫と他博物館等の共催で開催

① 中岳

主催 (公財) 阿蘇火山博物館

共催 松橋収蔵庫

会場 阿蘇火山博物館

開催期間 平成26年4月11日～5月31日

観覧者数 24,469人

展示点数 45点

展示概要 阿蘇中岳の活動の特徴と過去の噴火の様子を展示。松橋収蔵庫は、地層剥ぎ取り標本などを中心に中央火口丘群の過去の活動の様子の部分を担当展示。

担当 川路 芳弘、廣田 志乃



(4) 松橋収蔵庫通路展示 松橋収蔵庫の通路スペースを活用した小規模展示

① 「熊本の自然と文化 ～松橋収蔵庫だより～」第 27 号 資

料紹介

展示期間 平成 26 年 3 月 15 日～6 月 29 日

展示概要 「熊本の自然と文化」第 23 号の収蔵資料紹介で取り上げた資料の実物等を展示し、紙面を拡大したパネルによる解説を行った。

担 当 迫田 久美子、前田 哲弥、廣田 志乃、松本 晃世、
小原 舞

<展示資料>

茶碗籠、オオシャミセンガイ、河江手永諸役人給米根帳、タシロラン、イノセラムス



② 「熊本の自然と文化 ～松橋収蔵庫だより～」第 28 号 資料紹介

展示期間 平成 26 年 6 月 30 日～8 月 14 日

展示概要 「熊本の自然と文化」第 28 号の収蔵資料紹介で取り上げた資料の実物等を展示し、紙面を拡大したパネルによる解説を行った。

担 当 迫田 久美子、前田 哲弥、廣田 志乃
松本 晃世、小原 舞

<展示資料>

魚卵状石灰岩、棹秤、ヒバリ、米村靖雄関係資料、イバラモ

③ 季節を告げる生き物たち

展示期間 平成 26 年 8 月 15 日～10 月 14 日

展示概要 人々は古くから、生き物を手がかりに季節の移り変わりを知り、暦のひとつとして利用してきた。生き物ら生活の変化を知ること、現在では「生物季節観測」と呼んでいる。熊本県の気象台が生物季節観測に用いている 10 種の動物について紹介した。

担 当 小原 舞

<展示資料>

ヒバリ、ウグイス、モンシロチョウ、ツバメ、キアゲハ、シオカラトンボ、ゲンジボタル、アブラゼミ、ヒグラシ、モズ



④ 「熊本の自然と文化 ～松橋収蔵庫だより～」第 29 号 資料紹介

展示期間 平成 26 年 10 月 15 日～11 月 14 日

展示概要 「熊本の自然と文化」第 29 号の収蔵資料紹介で取り上げた資料の実物等を展示し、紙面を拡大したパネルによる解説を行った。

担 当 迫田 久美子、前田 哲弥、廣田 志乃
松本 晃世、小原 舞

＜展示資料＞

ツクシテンツキ、メタセコイア、曲尺と鯨尺、シマヘビ、清正公三百年祭関係資料

⑤ 緑ではない植物たち

展示期間 平成26年11月15日～平成27年1月14日

展示概要 植物の大きな特徴のひとつは、緑色であることと光合成をおこなうことである。しかし、それらの特徴を持たず、他種の生物との強い結びつきを作って生活している植物もある。これらの植物の種類と生活を紹介した。

担当 前田 哲弥



＜展示資料＞

ギンリョウソウ、シロシャクジョウ、ツチトリモチ、キイレツチトリモチ、ナンバンギセル、ネナシカズラ、クロヤツシロラン、タシロラン

⑥ 「熊本の自然と文化 ～松橋収蔵庫だより～」第30号 資料紹介

展示期間 平成26年1月15日～2月14日

展示概要 「熊本の自然と文化」第30号の収蔵資料紹介で取り上げた資料の実物等を展示し、紙面を拡大したパネルによる解説を行った。

担当 迫田 久美子、前田 哲弥、廣田 志乃、堤 将太、小原 舞

＜展示資料＞

仏国派遣救護班活動絵葉書、キイセンニンソウ、クロム鉄鉱と灰クロム石榴石、斗升と斗棒、ニホンジカ

⑦ 髪結の道具

展示期間 平成27年2月15日～平成27年4月14日

展示概要 かつての女性の髪型、いわゆる日本髪と、それを結う道具を紹介した。その道具を使っていた髪結（女髪結）という職業を、その職業が生まれた背景を中心に紹介した。

担当 迫田 久美子

＜展示資料＞

くし、くせ直しの道具、かもし、元結い、さしくし、かんざし、根掛、筭、九州女子美髪学校 修了証書



2 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 県内各地で行う家族向け自然観察会

① ヒメボタルを観察しよう

開催期日 平成 26 年 6 月 1 日

場 所 熊本市貢町

参加人数 11 人

概 要 水辺に生息するゲンジボタル等とは異なる、森林に生息するヒメボタルを観察

講 師 田中 英昭氏(九州自然環境研究所)

担 当 天野 守哉、小原 舞

② 海辺の生き物を観察しよう

開催期日 平成 26 年 6 月 14 日

場 所 天草市牛深下須島

参加人数 48 人

概 要 牛深の磯に見られる貝類を中心とした観察

講 師 松本 達也氏、矢田 正海氏(貝類研究家)

担 当 天野 守哉、小原 舞



③ ハマボウを観察しよう

開催期日 平成 26 年 7 月 13 日

場 所 はまぼう公園 (天草市新和町)

参加人数 9 人

概 要 日本最大の群生地とも言われる天草のハマボウ公園で観察

講 師 ハマボウ公園ボランティアガイド

担 当 稲葉 一文、前田 哲弥

④ 河原の石を観察しよう

開催期日 平成 26 年 7 月 30 日

場 所 立神峡 (氷川町)

参加人数 16 人

概 要 川原の石の種類や大きさの観察

講 師 岩崎 泰穎氏 (熊本大学名誉教授)

担 当 川路 芳弘、廣田 志乃



⑤ 夏の星座を観察しよう

開催期日 平成 26 年 8 月 1 日

場 所 熊本県民天文台 (熊本市南区城南町)

参加人数 19 名

- 概要** 夏の大三角形などの観察予定であったが、雨のため天体写真の撮り方の講習や、星座の話などを熊本県民天文台の中で行った。
- 講師** 艶島 敬昭氏、小林 寿郎氏、西嶋 好美氏（熊本県民天文台職員）
- 担当** 川路 芳弘、廣田 志乃、國本 信夫

⑥ シギチドリを観察しよう

- 開催期日** 平成 26 年 8 月 30 日
- 場所** 荒尾市蔵満海岸
- 参加人数** 4 人
- 概要** 荒尾海岸に飛来するシギ・チドリの観察
- 担当** 天野 守哉、小原 舞



⑦ 月を観察して写真に撮ろう

- 開催期日** 平成 26 年 9 月 6 日
- 場所** 熊本県民天文台（熊本市南区城南町）
- 参加人数** 53 名
- 概要** 十三夜を観察し、望遠鏡を通して写真撮影。
- 講師** 艶島 敬昭氏、中嶋 尚氏、西嶋 好美氏（熊本県民天文台職員）
- 担当** 川路 芳弘、廣田 志乃、國本 信夫



⑧ 阿蘇の草花を観察しよう

- 開催期日** 平成 26 年 9 月 20 日
- 場所** 南阿蘇ビジターセンター（阿蘇郡高森町）
- 参加人数** 12 人
- 概要** 阿蘇野草園を散策し、阿蘇の草原植物を観察
- 講師** 瀬井 純雄氏（熊本記念植物採集会）
- 担当** 稲葉 一文、前田 哲弥



⑨ 化石と地層を観察しよう

- 開催期日** 平成 26 年 10 月 4 日
- 場所** 宇土半島（宇土市）、千巖山（上天草市）
- 参加人数** 21 名
- 概要** 地層の重なり方や化石などの観察
- 講師** 岩崎 泰穎氏（熊本大学名誉教授）
- 担当** 川路 芳弘、廣田 志乃



⑩ 落ち葉図鑑を作ろう

- 開催期日** 平成 26 年 11 月 29 日
- 場所** 肥後民家村（玉名郡和水町）
- 参加人数** 17 人
- 概要** 落ち葉を拾って観察し、落ち葉図鑑を作る。
- 担当** 稲葉 一文、前田 哲弥



(2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

① 古文書読み解き講座

開催期日 平成26年6月～平成27年3月 毎月第1土曜日
会場 松橋収蔵庫
受講人数 329人(計10回)
趣旨 松橋収蔵庫が所蔵する「銀臺遺事」を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。
使用資料 「銀臺遺事(写)」(森下功旧蔵資料)
担当 田中 孝行、松本 晃世、堤 将太



② 古文書入門講座

開催期日 平成26年6月～平成27年3月 毎月第1土曜日
会場 松島総合センターアロマ
主催 上天草市教育委員会、松橋収蔵庫
受講人数 121人(計10回)
趣旨 上天草市指定文化財の大庄屋吉田家文書や松橋収蔵庫が所蔵する歴史資料(古文書)を教材として活用し、受講者が本県の歴史や文化を再発見できる機会を提供することを目的とする。
使用資料 大庄屋吉田家文書「吉田傳三郎報賞状」「吉田宗徳報賞状」ほか
担当 田中 孝行、松本 晃世、堤 将太



③ 暮らしの中の民俗学

開催期日 平成26年6月～平成27年3月 毎月第3木曜日
会場 芦北町社会教育センター
主催 芦北町教育委員会、松橋収蔵庫
受講人数 140人(計10回)
趣旨 日ごろ何気なく行っている行事やしきたりなど、日ごろの暮らしを見つめ直し、これからの暮らしのあり方を考える。
内容
6月19日 暮らしのリズム
7月17日 盆と正月
8月21日 節供とは
9月18日 人が生まれた時の儀礼
10月16日 結婚と家族の形
11月20日 人が亡くなった時の儀礼
12月18日 男と女の民俗学
1月15日 ハレとケガレ
2月19日 高度経済成長と暮らし
3月19日 伝承文化とこれからの暮らし
担当 國本 信夫

④ 熊本の祭りと行事

開催期日 平成26年6月～平成27年3月 毎月第4金曜日
会場 清和山村基幹集落センター
主催 山都町教育委員会 松橋収蔵庫
受講人数 156人(計10回)
趣旨 熊本県内で行なわれる様々な祭りや行事について意味、内容、見所などを紹介する。

内 容	6月27日	暦と祭り行事	7月25日	夏祭り
	8月22日	盆行事	9月26日	秋祭り1
	10月24日	秋祭り2	11月28日	神楽
	12月19日	正月行事	1月23日	田楽、風流
	2月27日	春祭り	3月27日	熊本の祭り、行事、芸能
	担 当	國本 信夫、迫田 久美子		

⑤ 天草の地質

開催期日	平成26年6月～平成27年3月 毎月第3月曜日
会 場	天草ビジターセンター・野外
受講人数	62人(計10回)
趣 旨	天草は、御所浦の恐竜をはじめ、アンモナイトの化石や天草陶石など、地質的な見所が多くある。天草市下島を中心とした現地での見学を通し、なぜここにこのような場所ができたのかを考えながら学びを深めた。
担 当	川路 芳弘、廣田 志乃



⑥ 地学基礎講座

開催期日	平成26年6月～平成27年2月 毎月第4土曜日
会 場	松橋収蔵庫
受講人数	116人(計9回)
趣 旨	熊本県は、火山や古い時代の堆積岩、プレートテクトニクスを説明できる堆積物などがあり、日本列島の成り立ちを知ることができる。松橋収蔵庫の資料を基に熊本の大地の成り立ちを学び、日本列島の成り立ちについて考えた。
担 当	川路 芳弘

⑦ 貝類学講座

開催期日	平成26年6, 7, 8, 10, 12, 2月の第3土曜日
会 場	松橋収蔵庫、県内博物館等
受講人数	50人(計6回)
趣 旨	熊本県内に生息する貝類について見分け方や生息環境などを学ぶ。
内 容	6月21日 講義「貝類分類の基礎」 7月19日 タカラガイ科の分類 8月16日 イモガイ科の分類 10月18日 スイショウガイ科の分類 12月20日 収蔵庫の資料を中心に 2月21日 講義「まとめ」
講 師	松本 達也氏(貝類研究家)
担 当	天野 守哉、小原 舞



⑧ シダ学講座

開催期日	平成26年6月～12月 毎月第2土曜日
会 場	松橋収蔵庫、雁回山周辺



受講人数 52人（計6回）
趣 旨 身近なシダ植物について、その見分け方や体のつくりの違い、生育環境の違いなどを学ぶ。
内 容 6月14日 講義「シダ植物とは」
7月12日 シダ観察会と採集
8月 9日 台風接近のため中止
9月13日 シダ観察会と採集
10月11日 シダ観察会と採集
11月 8日 シダ観察会と採集
12月13日 講義「シダ学の現在」
講 師 高宮 正之氏（熊本大学大学院教授、12月）
甲斐 数美氏（熊本記念植物採集会理事、7・11月）
石坂 征勝氏（熊本記念植物採集会会員、9・10・11月）
担 当 稲葉 一文、前田 哲弥

⑨ カヤツリグサ講座

開催期日 平成26年8月～平成26年12月 毎月第4火曜日
会 場 松橋収蔵庫、県内各地
受講人数 30人（計5回）
趣 旨 植物観察で難しいと感じられるカヤツリグサ科植物について、その見分け方や、生育環境の特徴などを学ぶ。
内 容 8月26日 植物標本入門、カヤツリグサ入門
9月16日 湿地のカヤツリグサ科植物
10月28日 湿地のカヤツリグサ科植物2
11月25日 スゲ属植物入門
12月16日 勉強会
担 当 稲葉 一文、前田 哲弥

(3) キッズミュージアム 楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けプログラム

主催 松橋収蔵庫、ミュージアムパートナーズクラブ
会場 松橋収蔵庫
開催期日 平成 26 年 7 月 19 日～21 日
参加者数 447 人 (19 日 136 人、20 日 167 人、21 日 144 人)

(体験プログラム)

- 7 月 19 日 貝で工作をしよう、化石ペンダントをつくろう、親子で拓本にチャレンジ、枝でランプシェードをつくろう、おりがみで恐竜をつくろう、昆虫採集をしよう
7 月 20 日 草木染めのハンカチ、竹で空気てっぽうをつくろう、古銭レプリカをつくろう、柿渋のエコバック、鉱物万華鏡をつくろう、葉っぱ模様のうちわをつくろう
7 月 21 日 石臼できなこをつくろう、押し花標本づくり、和綴じノートをつくろう、葉脈しおりをつくろう、化石のレプリカをつくろう、セミの抜け殻探し



貝で工作をしよう



親子で拓本にチャレンジ



鉱物万華鏡をつくろう



柿渋のエコバッグ



押し花標本づくり



石臼できなこをつくろう

(4) 移動体験教室・講師派遣 子ども会などへの出前授業と学校や公民館への講師派遣

① 移動体験教室

- 6月 6日 熊本市立桜木東小学校 PTA (石臼できなこづくり 63人)
- 6月14日 山鹿市立来民小学校放 PTA (化石レプリカづくり 94人)
- 6月28日 合志市立南ヶ丘小学校 PTA (草木染め 22人)
- 7月 5日 南阿蘇村立中松小学校 PTA (化石レプリカづくり 34人)
- 7月27日 画図十四町内子ども会 (草木染め 29人)
- 8月 5日 八代市立麦島小小麦クラブ (セミの抜け殻探し 47人)
- 8月20日 久具地区田んぼの生き物観察会 (10人)
- 9月 6日 益城町立広安小学校 PTA (空飛ぶ種 80人)
- 9月 6日 熊本市立五福小学校 PTA (石臼できなこづくり 70人)
- 9月20日 益城町立広安小学校 PTA (古銭レプリカづくり 35人)
- 10月19日 美里町立中央小学校 PTA (化石レプリカづくり 52人)
- 10月26日 宇土市立走瀉小学校 PTA (草木染め 32人)
- 11月 7日 八代市立大田郷小学校 PTA (石臼できなこづくり 40人)
- 11月15日 菊陽町立武蔵ヶ丘小学校 PTA (化石レプリカづくり 83人)
- 11月23日 美里町立砥用小学校 (化石レプリカづくり 54人)
- 12月 7日 玉名市立玉名町小学校 (空飛ぶ種 35人)
- 3月28日 長洲町きよらの里 (草木染め 30人)

② 講師派遣

- 6月 6日 熊本県立宇土中学校 宇土未来探究講座 (天野 守哉)
- 7月 4日 熊本大学博物館教育論授業 (國本 信夫)
- 8月10日 人吉球磨理科教育研究会中学校部会 (川路 芳弘)
- 8月11日 熊本県高等学校教育研究会地学部会 アースサイエンスセミナー(~12日川路 芳弘)
- 8月19日 人吉球磨地区中学校理科部会研修 (川路 芳弘)
- 8月22日 アースサイエンスセミナー事後指導 (川路 芳弘)
- 10月20日 熊本県高等学校教育研究会地学部会 生徒発表会 (川路 芳弘)
- 9月 6日 天草ジオパーク体験コーナー (川路 芳弘)
- 11月 2日 宇土市立花園小学校 (川路 芳弘、稲葉 一文、田中 孝行、前田 哲弥、廣田 志乃、松本 晃代)
- 11月 2日 宇城市立不知火小学校 (國本 信夫、迫田 久美子)
- 11月25日 熊本大学大学院授業 (國本 信夫)
- 1月13日 熊本市立楠小学校3年社会科授業 (國本 信夫、迫田 久美子)
- 1月16日 熊本市立日吉東小学校3年社会科授業 (國本 信夫、迫田 久美子)
- 1月20日 熊本大学博物館経営論授業 (國本 信夫)
- 1月27日 宇城市立青海小学校3年社会科授業 (國本 信夫、迫田 久美子)
- 2月20日 熊本市立託麻西小学校3年社会科授業 (國本 信夫、迫田 久美子)
- 2月25日 宇城市立不知火小学校3年社会科授業 (國本 信夫、迫田 久美子)
- 2月25日 熊本市立日吉小学校3年社会科授業 (國本 信夫、迫田 久美子)
- 2月26日 宇城市立豊川小学校3年社会科授業 (國本 信夫、迫田 久美子)
- 2月26日 甲佐町立龍野小学校3年社会科授業 (國本 信夫、迫田 久美子)

(5) 団体利用 研修会場としての利用やバックヤードも含めた施設見学等

- 7月 2日 熊本県教育センター高等学校環境学習研修 (44人)
- 7月 3日 熊本県教育センター高等学校生物・地学初任者・5年目研修 (9人)
- 7月14日 熊本県退職教職員協議会宇城支部 (13人)
- 8月 6日 熊本県教育センター中学校理科実践研究研修 (3人)
- 8月11日 熊本大学博物館実習館園見学 (62人)
- 9月 5日 熊本博物館協議会 (24人)
- 9月27日 熊本県立八代高等学校地学部 (8人)
- 10月12日 熊本記念植物採集会標本持寄会 (13人)
- 11月 6日 熊本県立松橋支援学校 (18人)
- 2月21日 熊本まちなみトラスト (6人)

(6) 博物館実習・職場体験 学芸員資格取得課程受講学生や中高生の職場体験の受入

① 博物館実習

- 期 間** 平成26年9月4日～12日
- 受入学生** 熊本大学 2人
- 実習内容**
- 4日 オリエンテーション、展示制作実習(資料移動)
 - 5日 収蔵庫業務説明、施設見学、展示制作実習(資料移動、列品)
 - 6日 移動体験教室「石臼でできる粉団子作り」五福公民館
フィールドミュージアムへ飛びだそう「月を観察し撮影しよう」熊本県民天文台
 - 8日 展示制作実習(列品)
 - 9日 展示制作実習(列品、照明)
 - 10日 写真撮影実習、民俗資料整理実習
 - 11日 民俗資料整理実習
 - 12日 民俗資料整理実習(台帳作成)

② 職場体験

・熊本県立熊本北高等学校インターンシップ

- 期 間** 平成26年8月4日
- 受入生徒** 4人
- 体験内容** バックヤード見学

・熊本県立第一高等学校インターンシップ

- 期 間** 平成26年8月8日
- 受入生徒** 4人
- 体験内容** バックヤード見学、来館者対応体験

・熊本県立宇土中学校インターンシップ

- 期 間** 平成26年9月3日～4日
- 受入生徒** 5人
- 体験内容** 展示制作体験

(7) 松橋収蔵庫ミュージアムパートナー制度

概要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、松橋収蔵庫と協働した「県民参加の博物館活動」に主体的に携わる意思がある方を対象とした登録制度。

登録説明会 第1回 5月18日 参加5人

第2回 9月26日 参加11人

登録者数 71人

(8) 松橋収蔵庫ミュージアムパートナーズクラブ

活動概要 松橋収蔵庫ミュージアムパートナーにより組織された活動団体として、各活動クラブに分かれて活動している。松橋収蔵庫との協働により熊本県内の自然や文化の調査研究及び学習支援、情報発信等の活動を行っている。

活動内容 4月21日 第1回連絡会

5月24日 平成26年度総会

7月19日 キッズミュージアム共催（～21日）

2月25日 第2回連絡会

(活動クラブ)

① 地学研究会

活動人数 6人

活動日 毎週水・金曜日

活動内容 松橋収蔵庫の岩石・鉱物・化石の同定

② 松橋地域史調査クラブ

活動人数 7人

活動日 毎月第1土曜日

活動内容 秋岡家文書「文化七年覚帳」（松橋郷土資料館所蔵）の読解

③ 雁回山の植物を観る会

活動人数 9人

活動日 毎月第2木曜日

活動内容 雁回山の植物相調査と標本作成、会報「植物の会雁回班」の発行

④ 草木染めの会

活動人数 14人

活動日 毎月第2土曜日

活動内容 熊本の植物を使つての草木染め実践
藍の栽培と藍染め実践
キッズミュージアム「草木染め」運営



⑤ 阿蘇火山調査会

活動人数 15人

活動日 毎月第3木曜日

活動内容 阿蘇中央火口丘群の火山噴出物の調査

⑥ 南阿蘇植物の会

活動人数 6人

活動日 毎月第2火曜日

活動内容 南阿蘇ビジターセンター及び阿蘇野草園の植物相調査と標本作成



⑦ 阿蘇文化調査研究会

活動人数 9人

活動日 奇数月第4木曜日

活動内容 阿蘇の歴史文化に関する調査研究

⑧ 貝類調べ隊

活動人数 14人

活動日 毎月第3土曜日

活動内容 熊本県内に生息する貝類の調査研究



⑨ くまもとの大地の成り立ち

活動人数 17人

活動日 偶数月第1日曜日

活動内容 熊本県下の地質現象がよくわかる場所での学習会および、サンプル収集



⑩ 交流支援クラブ

活動人数 5人

活動日 毎月第1・3火曜日

活動内容 ミュージアムパートナーズクラブ総会や連絡会の準備
ミュージアムトークや展示解説会等の会員交流イベントの企画運営

(ミュージアムパートナー交流イベント)

4月15日 日赤派遣救護班看護婦 竹田ハツメについて(田中 孝行、7人)

5月20日 「身近に知るくまもとの大地」展示解説(川路 芳弘、7人)

6月17日 ミュージアムリテラシーについて(國本 信夫、6人)

8月19日 「植物で遊ぼう」展示解説(稲葉 一文、7人)



- 9月16日 「ちょっと昔の暮らし探検VI」展示解説（迫田 久美子、4人）
- 10月21日 火山性地質と土砂災害（廣田 志乃、6人）
- 11月18日 生き物探しの楽しみいろいろ（小原 舞、4人）
- 12月16日 「救護看護婦 竹田ハツメ」展示解説（田中 孝行、10人）
- 1月20日 腐生植物・寄生植物（前田 哲弥、10人）
- 2月17日 髪結い道具の話（迫田 久美子、5人）
- 3月17日 地学教材パッケージの紹介（川路 芳弘、6人）

3 熊本県総合博物館ネットワーク構築準備活動

(1) 学校移動展示用パッケージ作成

熊本県博物館ネットワークセンターが所蔵する、動物剥製、植物をはじめ、化石・岩石などの標本を活用し、これらの標本に触れ、解説を伴う展示を見ることで、児童・生徒の自然に対する興味・関心を高め、学習内容を深めるきっかけとすることを旨とする、学校移動展示用パッケージの作成。（運用は平成27年度から）

① 中学校理科

「火山と火成岩」

中学1年理科2分野で学ぶ安山岩などの火成岩6種類、輝石などの造岩鉱物6種類をはじめ、火山灰や火山弾が入っているセット。



「化石が教えてくれること」

中学1年理科2分野で学ぶアンモナイトをはじめとする示準化石や、カキや、サンゴなどの示相化石が入っているセット。

② 高校生物

「外来生物」

熊本に生息・生育する外来生物についてパネルで紹介。特に宇土半島で対策が進む特定外来生物のタイワンリスに関しては、被害の状況や対策についてパネルで解説。タイワンリスの剥製も入っているセット。

「日本のバイオーム」

熊本の代表的な植生である照葉樹林と夏緑樹林に生育する植物をパネルで紹介し、併せて各植生を代表する植物種10種ずつを標本とし、ケースに入れて紹介。また、日本の垂直分布と水平分布、及び熊本の垂直分布をパネルで解説。



「外来生物」



「日本のバイオーム」

(2) 県内博物館等学芸員研修会 県内学芸員の資質向上のための研修会

① プロデューサー育成講座

期 日 平成 27 年 3 月 11 日

会 場 県庁 職員研修室

テーマ ミュージアムマネジメントの必要性について

講 師 大堀 哲氏（長崎歴史文化博物館館長 日本ミュージアムマネジメント学会会長）

参加者 39 人

② 学芸員スキルアップ講座

期 日 平成 27 年 1 月 14 日

会 場 県庁 101 会議室

テーマ 文化財の保存科学と温湿度環境

講 師 本田 光子氏（九州国立博物館特任研究員）

参加者 43 人

(3) モンタナ州立大学付属ロッキー博物館との覚書締結

海外の博物館と連携を図るため、姉妹提携先の米国モンタナ州立大学付属ロッキー博物館との間で博物館活動に係る包括連携を行う覚書を締結した。

覚書締結式

日 時 2 月 2 4 日（火）午後 3 時から（30 分程度）

場 所 知事応接室

対応者 〔熊本県〕蒲島知事

〔ロッキー博物館〕パトリック・リージー古生物部長

覚書の概要

両州県間の自然や文化についての相互理解を目的に、展示、学習支援、調査研究などの連携に努めることとし、連携強化のため、博物館に関する知識、収蔵品、専門家、学芸員、スタッフ間の交流に努める。



4 資料収集整理活動

(1) 資料収集・整理状況 平成 26 年 3 月 31 日現在

① 動物分野

資料収蔵点数

コレクション名	資料点数(概数)
立志徹郎氏寄贈貝類標本	57,500
河川水辺の国勢調査成果品	1,000
入江氏委託動物標本	900
入江切手コレクション	3,000
宇土高校寄贈液浸標本	100
済々黌高校寄贈液浸標本	2,500
熊本大学教育学部寄贈液浸標本	500
その他	12,300
合計	77,800

平成 26 年度の受入資料

熊大教育学部液浸標本	15 点
坂本氏寄贈サンショウウオ類液浸標本	25 点
入江氏寄贈液浸標本	約 100 点
熊本県鳥獣保護センター資料	約 30 点

資料登録点数

分類群	乾燥(剥製等)	液浸	計
NB11(哺乳類)	231	103	334
NB12(鳥類)	936	1	937
NB13(両生・爬虫類)	17	294	311
NB14(魚類)	21	3557	3578
NB15(昆虫類)	4273	398	4671
NB16(多足類)	3	776	779
NB17(甲殻類)	5	900	905
NB18(軟体動物)	12101	341	12442
NB19(その他分類群)	9	28	37
合計	17596	6398	23994

平成 26 年度の主な整理登録作業

- 剥製及び冷凍鳥獣受入及び登録
- 液浸標本作製及び登録
- 乾燥昆虫標本作製及び登録
- 立志貝類標本登録、収納及び複標本分類整理

② 植物分野

資料収蔵点数 約 260,000 点

登録点数（平成 26 年度登録点数）

分類群	全登録点数	平成26年度登録点数
NB2（植物）	172,335	12,759
NB3（菌類）	2,395	0
NB4（藻類）	765	0
合計	175,456	12,759

平成 26 年度受入資料

中下雅子氏採集標本 11 点

平成 26 年度の主な整理登録作業

個人寄贈標本（田代周史氏、佐藤千芳氏、相良廣高氏、山城學氏、富田壽人氏、浜田善利氏、高橋泉氏、中下雅子氏）、熊本大学（天草臨海実験所、教育学部ほか）標本、ミュージアムパートナーズクラブ「雁回山の植物を観る会」および「南阿蘇植物の会」採集標本、職員製作標本の登録・配架作業

③ 地質分野

資料収蔵点数

コレクション名	資料点数（概数）
今西茂標本	1,500
長谷義隆標本	10,000
アトラス熊本標本	174
荒尾宏岩石標本	200
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,700
河野通幸化石標本	217
岩崎泰穎標本	6,500
津末昭生標本	4,300
熊本大学工学部標本	10,000
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,300
村田正文標本	1,100
遠藤誠道植物化石標本	600
斉藤林次標本	200
早田幸作標本	200
千藤忠昌標本	1300
植田和男標本	100
フェイス女学院松本唯一標本	270
桂輝雄標本	100
その他（少数寄贈、職員製作など）	200
合計	46,961

登録点数

大分類	小分類	登録点数 (概数)
岩石	堆積岩	2,770
	火成岩	3,171
	変成岩	965
	その他	1,216
鉱物・鉱石	元素鉱物	315
	硫化鉱物	927
	ハロゲン化鉱物	113
	酸化・水酸化鉱物	1,085
	炭酸塩・硝酸塩・ホウ酸塩鉱物	495
	硫酸塩・タングステン酸塩鉱物	327
	リン酸塩・ヒ酸塩・バナジン酸塩鉱物	188
	珪酸塩鉱物	1,456
	その他	244
	植物化石	被子植物
裸子植物		75
シダ植物		39
その他		120
動物化石	脊椎動物	71
	原索動物	4
	棘皮動物	88
	節足動物	48
	軟体動物	1,616
	腕足動物	98
	刺胞動物	88
動物化石	その他	50
微化石	動物	56
	植物	4
現生	動物	18
	植物	3
その他	その他	2
合計		15,862

平成 26 年度の主な整理登録作業

千藤忠昌標本の整理

熊本大学工学部鉱物標本の整理・登録

岩崎泰穎標本の整理済分の登録

展示など使用標本の登録

④ 歴史分野

資料収蔵点数及び登録点数

コレクション名	資料点数	登録点数
熊本市辛島家資料	23,393	1,000
鏡町下山家資料	2,977	0
渡邊祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	140	0
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	913	0
松本達也寄贈資料	8	8
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清土寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	1,000	663
池部美恵子寄贈資料	5	5
森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6
熊本市米村家資料	400	0
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	39	39
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証書類	300	0
宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2
岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191
熊本県文化課収集生産具	5	5

松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	0
松橋収蔵庫購入等資料	8	8
合計	38,286	6,257

平成 26 年度の主な整理登録作業

熊本市辛島家資料の整理台帳作成

八代市竹田家資料、高森町安藤家資料、美當一調関連資料の整理・登録
一部資料のマイクロフィルム化及びデジタル化

⑤ 民俗分野

資料収蔵点数及び登録点数

大分類	小分類	資料点数	登録点数
衣食住	衣	573	226
	食	892	609
	住	383	228
生産生業	自然物採集	23	23
	農業	690	680
	山樵	132	132
	採鉱・冶金	10	10
	漁撈・製塩	141	141
	狩猟	10	10
	養蚕・牧畜	183	183
	繊維	82	82
交通交易	諸職・手工芸	390	382
	交通	190	144
交通交易	交易	110	74
	信仰	神社	24
寺院		45	24
民間信仰		30	26
民俗知識	教育	110	17
	医療	40	21
	暦	8	5
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	0	0
	娯楽	406	47
儀礼	年中行事	56	54
	人生儀礼	40	37
小計		4,614	3,182
写真資料		154,400	4,864
合計		159,014	8,046

平成 26 年度受入資料

生活用品 193 点

平成 26 年度の主な整理登録作業

写真資料 1,229 点

⑥ 図書

資料収蔵点数 66,400 点

登録点数 39,981 点

(2) 資料特別利用

- 7月 19日 天草市立御所浦白亜紀資料館特別展「貝の世界」(～9月7日、貝類標本 168 点貸出)
- 7月 26日 山鹿市立博物館(～10月5日、化石資料 16 点貸出)
- 9月 17日 装飾古墳館(～11月28日、鋳物資料 3 点貸出)
- 10月 9日 全国カモシカ担当者会議(山都町、～10月10日、カモシカ剥製 1 点貸出)
- 10月 11日 自然保護課・環境省「狩猟フォーラム」熊本市食品交流会館(動物資料 16 点貸出)
- 10月 11日 熊本県立熊本商業高等学校文化祭(～17日、動物標本 10 点貸出)
- 10月 24日 熊本県立宇土高等学校文化祭(～25日、昆虫標本ドイツ箱 15 箱貸出)
- 3月 2日 熊本市立千原台高等学校(～12日、タイワンリス剥製 1 体貸出)

5 情報発信活動

(1) 出版物

タイトル 熊本の自然と文化 ～松橋収蔵庫だより～ No.28

発行日 平成26年6月30日

掲載内容 「熊本県総合博物館ネットワーク」の構築にむけて

企画展示「植物と遊ぼう」案内他

資料紹介 魚卵状石灰岩（地学）

資料紹介 棹秤（民俗）

資料紹介 ヒバリ（動物）

資料紹介 米村靖雄関係資料（歴史）

資料紹介 イバラモ（植物）



タイトル 熊本の自然と文化 ～松橋収蔵庫だより～ No.29

発行日 平成26年9月15日

掲載内容 企画展示「ちょっと昔の暮らし探検VI」他案内

資料紹介 ツクシテンツキ（植物）

資料紹介 メタセコイア（地学）

資料紹介 曲尺と鯨尺（民俗）

資料紹介 シマヘビ（動物）

資料紹介 清正公三百年祭関係資料（歴史）



タイトル 熊本の自然と文化 ～松橋収蔵庫だより～ No.30

発行日 平成26年12月15日

掲載内容 企画展示「救護看護婦竹田ハツメ」案内

資料紹介 仏国派遣救護班活動絵葉書（歴史）

資料紹介 キセンニンソウ（植物）

資料紹介 クロム鉄鋼と灰クロム石榴石（地学）

資料紹介 斗榘と斗棒（民俗）

資料紹介 ニホンジカ（動物）



タイトル 熊本の自然と文化 ～松橋収蔵庫だより～ No.31

発行日 平成27年3月15日

掲載内容 企画展示「フィールドサインを見つけに行こう」案内

資料紹介 ニホンジカ（動物）

資料紹介 大工雛形秘伝書図解（歴史）

資料紹介 ケヒエスゲ（植物）

資料紹介 球状玻璃斑岩（地学）

資料紹介 簪・こうがい（民俗）



6 資料

(1) 平成26年度職員一覧

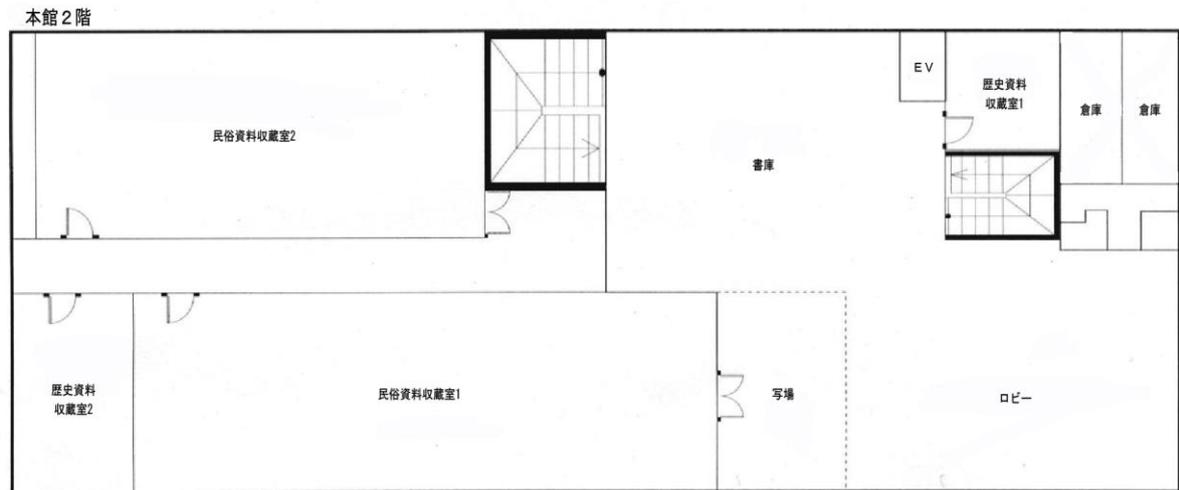
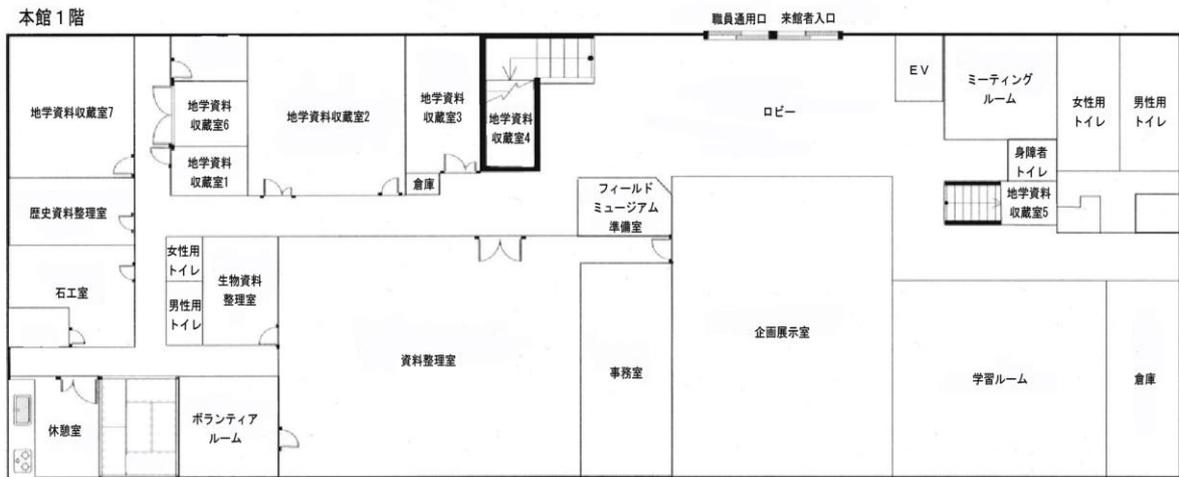
(熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課)

文化企画課長	吉永 明彦
課長補佐	松尾 伸吾

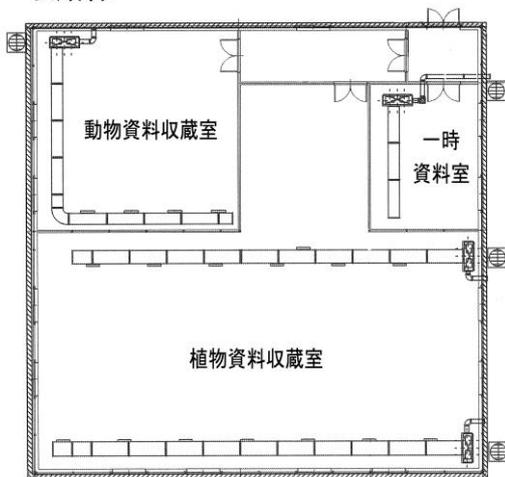
(博物館プロジェクト班)

課長補佐	松本 淳一
主幹	國本 信夫 (民俗)
参事	天野 守哉 (動物)
参事	川路 芳弘 (地質)
参事	稲葉 一文 (植物)
主任主事	田中 孝行 (歴史)
博物館活動嘱託	迫田 久美子 (民俗)
博物館活動嘱託	前田 哲弥 (植物)
博物館活動嘱託	廣田 志乃 (地質)
博物館活動嘱託	松本 晃世 (歴史)
博物館活動嘱託	小原 舞 (動物)
資料整理嘱託	栃原 志保莉 (植物)
資料整理嘱託	堤 将太 (歴史)
資料整理補助嘱託	並木 史郎
資料整理補助嘱託	中野 ゆり

(2) 施設平面図



収蔵棟



敷地概要

所在 宇城市松橋町豊福 1695

面積 61,917.40 m²

建物概要

本館 構造 RC造2階建

建築面積 1643.30 m²

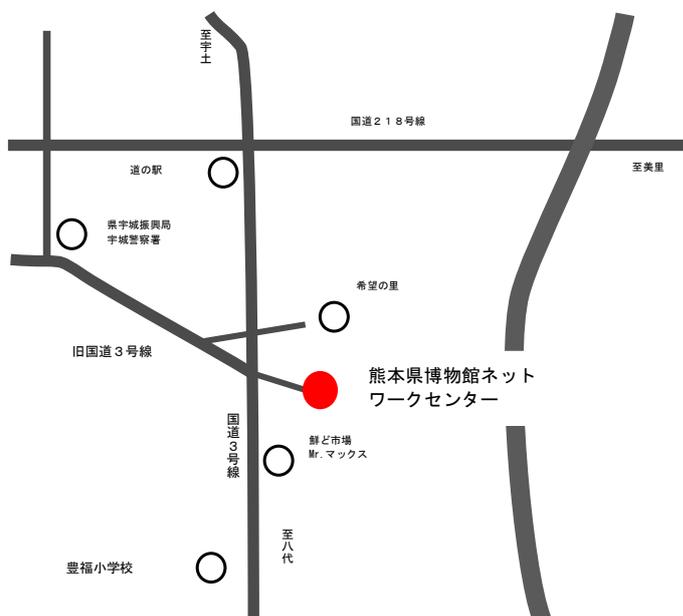
延床面積 2889.27 m²

収蔵棟 構造 RC造平屋建

建築面積 493.63 m²

延床面積 480.26 m²

【熊本県博物館ネットワークセンターのご案内】



開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）
交通案内 九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分
JR松橋駅より約3km
U R L <http://kumamoto-museum.net/kmnc/>
E - m a i l hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

平成26年度 熊本県松橋収蔵庫活動報告書

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター
〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695
電話（0964）34-3301
発行日 平成28年3月20日
